

## 今日のキーワード 『Brexit』は次のステージに進めるのか？

昨年6月、国民投票により欧州連合（EU）からの離脱（『Brexit』）を選択した英国。今年3月にはEUに離脱の通告を行い、2019年3月を期日として離脱交渉中です。交渉のポイントは、①EU離脱に伴う清算金の金額、②英国在住のEU市民の権利保障、③アイルランド国境問題です。今月中旬のEU首脳会談では、離脱交渉が次のステージに進めるのか注目されています。

### ポイント1

## 今年3月に開始された離脱交渉はこう着状態

### EU離脱に伴う清算金、EU市民の権利保障、アイルランド国境問題が優先課題

- 『Brexit』は、離脱通告から約2年間（2019年3月まで）の離脱交渉中にあります。現在、『Brexit』の交渉では、①EU離脱に伴う清算金の金額、②英国在住のEU市民の権利保障、③アイルランド国境問題が優先課題となっています。ただし、いずれについても英国とEU側の主張には隔たりがあり、10月までは離脱交渉にほとんど進展が見られませんでした。

### ポイント2

## 清算金について非公式に合意か？

### アイルランド国境問題では物理的障壁の回避が求められている

- 11月、一部報道において英国とEUとの間で①EU離脱に伴う清算金の金額について非公式の合意があったと報じられました。その金額は、報道機関によって異なるものの、9月にメイ首相が示していた200億ユーロの倍以上（400～550億ユーロ程度）とされています。
- ③アイルランド国境問題では、北アイルランドとアイルランドの国境管理および税関チェックの回避がポイントとなっています。アイルランドは、EU離脱に伴う物理的な障壁を回避するように求めています。一方、与党・保守党と閣外協力している民主統一党は、こうした特別扱いに反対しており、メイ政権の『Brexit』の交渉を難しくしています。



- ①EU離脱に伴う清算金
- ②EU市民の権利保障
- ③アイルランド国境問題

### 今後の展開

## 12月のEU首脳会談で「十分な進展」の判断を得て次のステージへ

- 12月4日に行われたメイ首相とユンケル欧州委員長の会談では、①EU離脱に伴う清算金や②EU市民の権利保障については前進したとされる一方、③アイルランド国境問題は合意に至りませんでした。合意に向けた調整は、今週末ないしは12月14～15日のEU首脳会談直前まで行われると見られます。EU首脳会談で『Brexit』の交渉に「十分な進展」があると判断されれば、新しい貿易協定の議論や、EU離脱後の約2年の移行期間の設定など、2018年以降の交渉は次のステージに進むと見られます。離脱交渉にこうした新しい貿易協定や移行期間の設定の進展が見られれば、英国経済や通貨ポンドの下支え要因となりそうです。

### ここもチェック！

2017年11月30日 ユーロ圏経済の動向

2017年11月 7日 『カタルーニャ』独立問題の経過とその影響

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。